

令和元年度 豊中市総合計画審議会第二部会 第1回会議 議事要旨

日時 令和元年(2019年)10月4日(金)18時～20時
場所 第二庁舎3階大会議室
出席者 加藤部会長、水上委員、壬生委員、宮前委員、中塚委員
計5名
事務局 都市経営部経営計画課：榎本、寺田、坂本、田中、島、上田
案件 1. 2019年度(2018年度実施分)政策評価結果の施策シートについて
2. その他
資料 資料1 2019年度(2018年度実施分)政策評価結果
参考1 第4次豊中市総合計画(本編)
参考2 第4次豊中市総合計画(概要版)

会議録 下記のとおり

1. 開 会

(開会)

事務局：

- ・ (成立要件の確認)

事務局：

(配布資料確認)

2. 案件1「2019年度(2018年度実施分)政策評価結果の施策シートについて」

部会長：

- ・ 「2019年度(2018年度実施分)政策評価結果の施策シートについて」を事務局からお願いいたします。

事務局：

- ・ (次第に基づき施策シートに対する審議会の役割を説明)
- ・ (総合計画審議会第一部会で出た主な意見を紹介)
- ・ (部会の進め方の説明)

部会長：

- ・ ただいまの説明について、ご質問・ご意見はございませんか。

委員：

- ・ 評価する項目は来年度も変わりませんか。

事務局：

- ・ 施策シートの総合評価の理由は毎年度書いていただくので変わりますが、施策名や施策の説明の部分は前期基本計画の間は変わりません。

部会長：

- ・ 総合評価の理由を書いている人は誰ですか。

事務局：

- ・ 実務担当者が書いたものを最終部局長がチェックしています。

部会長：

- ・ 毎年書く人が変わる可能性があるということですか。

事務局：

- ・ そうです。

委員：

- ・ 次第の③に「市民が読んだときにわかりやすくなっているか」とありますが、どのような人を対象に考えたらいいのでしょうか。

事務局：

- ・ 行政目線で書いていて何を書いているかわからないとか、そういう面で見ただけならばと思います。

部会長：

- ・ このシートは公表しているのに、難しい法律用語や行政用語がないかもチェックする必要があると思います。
- ・ それでは、それぞれの施策シートごとにチェックをしていきたいと思います。

(第3章-1「快適な都市環境の保全・創造」シート(P22)について)

- ・ アダプト制度は市民の意味が伝わりますか。

事務局：

- ・ 冊子の後ろに用語集をつけていますので、そちらをご参考にいただければと思います。

委員：

用語集に載っていることがわかるような印がないと、市民は用語集を見ないと思います。

事務局：

- ・ 次年度以降検討します。

委員：

- ・ 総合評価の理由で3つの施策の方向性について書いていると思うのですが、2つ目の○を見ると施策シートの内容の方が、施策の方向性シートの内容より詳しいように思います。それが悪いわけではありませんが、この2つのシートの関連はどうなっているのでしょうか。
- ・ また総合評価の理由の2つ目と3つ目の○は具体的に書かれていますが、1つ目の○は施策の方向性シート P57 と見比べると施策の方向性シートの方が詳しくなっています。シートの中での統一感はあった方がいいと思います。
- ・ P57 のシートの今後の方針の2つ目の○には、「子育て世代」とターゲットを絞っていますが、施策シートではぼんやりしています。もしターゲットが定まっているのであれば、施策シートにもそれを書いたほうが良いと思います。その方が来年度の評価をするときに振り返りやすいと思います。

事務局：

- ・ 原則としては、施策の方向性シートをまとめたものが施策シートになります。ですから、施策の方向性シートの方が具体的に書かれているものだと考えています。ご指摘いただいた点については担当課にフィードバックさせていただきます。

部会長：

- ・ 1つ目の○は「A」に対応する書き方になっていて、A評価なので今後新たな施策について具体的に書かれていないと考えました。
- ・ 施策の方向性シートでは具体的に成果、問題点・今後想定される事項、今後の方針とPDCAを書く欄があり、ある程度は書いていると思います。しかし施策シートの総合評価の理由では、PDCAが書けていないということだと思います。本来であれば、施策の方向性シートに書いた内容をまとめて施策シートに書くべきです。
- ・ 「快適な都市環境の保全・創造」という施策ですが、河川のことは書かないのでしょうか。豊中市には千里川とかあると思いますが事業はないのでしょうか。

事務局：

- ・ 事業はありますが、今年度は例年通りで特に記述していないということだと思います。

部会長：

- ・ 豊中市は河川環境にも力を入れられていると思うので、河川の美化やふれあいについての記述があってもいいように思いました。

委員：

- ・ 天竺川の清掃とか河川の清掃をよくされていると思います。そういう具体的な事業を書くと市民もわかりやすいと思います。個人的に P22 と P23 を見比べたときに P23 は具体的なことが多くわかりやすいと思いました。一方で P22 は美化活動などの単語にとどまっているので少しわかりにくいと思いました。書けるのであれば、天竺川など具体的なことを少し書いてもいいような気がします。

部会長：

- ・ 施策シートは難しくても、施策の方向性シートには書けると思いますので、検討してみてください。

委員：

- ・ 3 つ目の○で「豊中市の環境基準達成状況は、航空機騒音を除き」とありますが、空港の問題は豊中市として非常に重要なことだと思います。航空機騒音が達成できていないとしても、関係機関に低騒音機の導入を申し入れたなどの具体的な取組みは書けると思います。

部会長：

- ・ 具体的なことについては P59 に書いてあり、今後の方針に働きかけることも書いてあります。今後のことについては評価できないので、次年度の評価の書きぶりを見たらいいと思います。
- ・ P59 のシートには指標の実績値の数値がありませんが、どういうことでしょうか。

事務局：

- ・ 出典の「とよなかの環境」が 11 月頃に作成するので今年度の実績値は「－」にしています。

部会長：

- ・ 数値はいつ入れるのでしょうか。

事務局：

- ・ 今年度はすでに公表していますので、来年度に記入します。

委員：

- ・ 最近豊中市の気温が高いとニュースで見かけますが、測定に疑問を感じます。あまりに気温が高いというのは環境面で見ていかなものかと思います。

部会長：

- ・ 同じ場所で測定していると思うので、経年変化を見る上では正しい数値だと思います。ただし豊中市で測定する場所を選べないので、どうしようもない面かもしれません。
- ・ 総合評価が「B」になっていますが、これは方向性シートの評価が「A・B・B」で機械的に判断したものでですか。

事務局：

- ・ 総合評価の理由に書いてある内容から担当課が判断しており、機械的に判断しているわけではありません。

部会長：

- ・ それでは次のシートに移ります。

(第3章-2「低炭素・循環型社会の構築」のシート(P23)について)

委員：

- ・ 1つ目の○で「平成28年度(2016年度比)と比較し、約11.7%減少しました」と具体的に書いていますが、2つ目の○では「焼却処理量は微増しました」と数値を書いていません。できるだけ数値を記入したほうがわかりやすいと思います。
- ・ また数字で判断できないと、「B」評価の根拠がいまわかりません。

部会長：

- ・ PDCAサイクルのAの部分に、残された課題とそれに対する取組みをきちんと書くと例え数値がなくても、総合評価が「A」なのか「B」なのかを判断できると思います。「B」評価で「順調に進んでいるが一部取組みの見直しが必要です」と書くのではなく、見直しの具体的な内容を書く必要があります。これを書くことで、「A」と「B」の評価の線引きもできると思います。

委員：

- ・ 総合評価の理由の最後の文に「今後生じる恐れがある気候変動の影響を踏まえた取組みが必要である」とありますが、この施策ではどのようなことをイメージしているのでしょうか。書いてある内容は来年度以降の評価でも残ってくるものだと思いますが、具体的に何をしたのかを審議会で聞くことになるとと思いますので、そのあたりのことも考えて書いていただいた方がいいと思います。

部会長：

- ・ 「気候変動の影響を踏まえる」というのは大変なことだと思います。普通パリ協定などでは気候変動を起こさせない、つまり温暖化を防止することを目標に施策を設定しています。しかし「気候変動の影響を踏まえる」と書くと気候変動ありきで施策を考えることになります。影響も千差万別のことなので、影響の中身を書かないと伝わりません。気候変動の防止ぐらいでとどめておいた方がいいと思います。

委員：

- ・ 自助努力でできる範囲のことを書いておいた方がいいということですか。

部会長：

- ・ そうです。
- ・ 市民の意識が 52.9%しかないのが、意外でした。これだけを見ると市民はそう思っていないことなので「C」評価でも不思議ではないように思います。
- ・ それでは次のシートに移ります。

(第3章-3「都市基盤の充実」のシート(P24)について)

委員：

- ・ 1つ目の○で道路の計画のことが書かれていますが、当初計画していた道路の拡張ができなかったというようなことはあったのでしょうか。

事務局：

- ・ 都市計画道路ではありませんでした。

委員：

- ・ 市道の拡幅工事ではどうですか。

事務局：

- ・ 住環境整備計画は昨年度見直しをしましたので、計画の見直しはしていると思います。

委員：

- ・ そういった見直しが行われた場合に、そのことはシートに書かないのでしょうか。

部会長：

- ・ 少なくとも施策の方向性シートの影響度の大きかった事業にも出てきていませんが、事務局はどうお考えですか。

事務局：

- ・ 住環境の良さをあげていくための見直しですので、廃止の理由もあるとは思いますが、そこだけを取り出してこのシートに書くものではないと考えます。

部会長：

- ・ 細かい事業については施策シートや施策の方向性シートに書くものではないと思います。
- ・ P63の今後の方針の2つ目の○で「民間駐輪場整備助成事業の促進を図ります。また放置自転車の撤去・啓発を強化します」とありますが、これで「A」でいいのでしょうか。個人的に自転車の対策はやるべきことが山のようにあると思います。これだけの対策で「A」評価をつけていいのか疑問に思います。

委員：

- ・ 庄内駅周辺の建物や道路整備については多くの課題があると思います。そのためやることも多く、実際にやってきたので「A」評価をつけているのかと思います。しかし、まだまだ課題はあると思うので、そこは具体的に書いていただきたいと思います。

委員：

- ・ P63 の 4 つ目の指標で「通学路交通安全点検を実施した小学校区の数」とありますが、点検した割合だけでなく、点検の結果要望があったことに対する改善率などの指標を入れていただけるといいと思いました。

部会長：

- ・ 現状の把握だけにとどまらず、今後の方針のところに対策を書いてはどうかというご意見です。
- ・ P63 の 1 つ目の指標に「都市計画道路整備率」がありますが、これは府のみと市のみのもので、どのようなことになっているのですか。

事務局：

- ・ 担当課に確認します。

部会長：

- ・ それでは次のシートに移ります。

(第3章-4「魅力的な住環境の形成」のシート(P25)について)

- ・ 総合評価の理由の最後の文に「事業全体は順調に進んでいますが、今後さらなる充実が必要」とありますが、課題として何が残っているのかを書く必要があると思います。

委員：

- ・ 市の花や木がシンボルとしてありますが、魅力的な住環境の形成のために何か考えてもいいと思いました。例えば南部地域で新しく作る小中一貫校で何かできないかご検討いただければと思います。

部会長：

- ・ 次期の総合計画を作るときにも検討いただければと思います。
- ・ P67 の 2~4 つ指標名で「累計件数」とありますが、目標値が増加というのは設定がおかしいと思います。累計件数は減ることがないのに、増加という設定はおかしいので、次年度以降検討し直してください。
- ・ それでは次のシートに移ります。

(第3章-5「産業振興の充実」のシート(P26)について)

委員：

- ・ 次の P27 のシートでも言えることですが、市民の意識の数値がとても低いです。これの中身を見てみますと、「わからない」と回答した方が 50%以上おられます。こういう指標を施策シートで使っているのか疑問に思います。

事務局：

- ・ ご指摘いただいたことについては、次回以降の市民意識の課題だと感じています。前期基本計画の間は経年変化を追うためにも数値は変えられませんが、後期基本計画を策定するときには「わからない」の扱いをどうするのかも含めて検討したと思います。

部会長：

- ・ 市民意識調査はアウトカム指標で、どうしてもこのような数値になると思います。この弱点を補うような方策を考えた方がいいと思います。総合評価の理由に書き込むのも 1 つの方法だと思います。

委員：

- ・ P69 の施策の方向性シートで「地域産業の活性化による都市のにぎわいづくりを進めます」とありますが、産業のにぎわいという表現に違和感があります。商業のにぎわいの方がしっくりきます。
- ・ 阪急庄内駅では、乗車数より降車数の方が多くなっています。これは南部地域でもものづくりが進んでいることだと思います。豊中市は住環境がいいという評価をいただいています、住んでいる近くにも勤めるところがあり、市外からのお勤めに来られます。私は住工混在問題や企業立地に懸命に取り組んでおられると思います。

部会長：

- ・ たしかに P69 のシートを見てみると、指標の目標も特に問題がなく課題も少ないように感じます。問題点・今後想定される事項の欄に課題は書いているので、「B」評価で問題ないように思います。
- ・ P70 のシートの 1 つ目の指標に「開業率」がありますが、「廃業率」もあった方が、活発さがわかると思います。

委員：

- ・ 吹田市では起業時に家賃補助などの制度があります。市が起業者をバックアップする体制があるため、起業に積極的な印象を受けました。

部会長：

- ・ 創業時の支援は何年間ぐらいあるのでしょうか。一般的には3年のイメージがあります。また、P70の問題点・今後想定される事項の2つ目の○では「創業時の支援だけでなく、創業後の事業継続のための支援、環境整備が必要です」とありますが、支援だけでは起業までいかないというご意見だと思います。

委員：

- ・ 支援がアドバイスだけになっているのかもしれませんが。起業時には費用もかかりますので、自治体によってはそこを負担しているところもあります。

部会長：

- ・ 今のご指摘を受けて指標を再度考えてみてはいかがでしょうか。P70の2つ目の指標では、相談件数しかわかりませんので、その他の支援の指標も入れてもいいと思います。
- ・ それでは次のシートに移ります。

(第4章-1「共に生きる平和なまちづくり」のシート(P27)について)

委員：

- ・ 他のシートと比べて具体的な書き方になっていないと感じました。1つ目の○だと「条例を制定し、取組みを進めます」、2つ目では「パネル展や講演会をしました」という書き方になっているので、具体的ではなく市民にとってはわかりにくいと思います。一方で4つ目の○では「啓発教材を作りました」といった具体的な部分もあるので、シートの中で書きぶりを統一する必要があると思います。
- ・ 施策の方向性シート P72 の指標の3つ目に「DVに関する相談件数」がありますが、この指標は P73 の男女共同参画社会の方に入れるべきだと思います。なぜ P72 に入れたのでしょうか。
- ・ 同和問題については、P72 の今後の方針で「令和元年度に実施する『人権に関する市民意識調査』の結果を調査・分析し、人権啓発の機会や手法等の検討を行い、人権に関する普及啓発活動を推進します」とありますが、前回の調査が5年前に行われ、その分析に私も関わっており、その結果に基づいて2018年3月に「豊中市における同和問題の解決を図るための教育・啓発の進め方について」の答申が出ています。答申についての検討期間は2018年度だったわけですが、その答申についての豊中市としてどう活かすかの方針なしに、次の市民意識調査を行い、新しく分析することはやり方に疑問を感じます。まず前の分析についての答申が出ているなら、それを活かして取組みを行い、次の市民意識調査をつなげていくという手順をふんでいないことが腑に落ちません。答申の取扱いを施策の方向性シートにでも書くべきだと思います。
- ・ P71 の指標については、1つ目で「開催事業数」、2つ目で「参加者数」としていますが、事業数が増えれば参加者数が増えるのは当たり前のことなので、2つ書く必要はないと思います。他の指標を考えた方がいいと思います。

- ・ P72 の指標では、4 つ目に「人権問題学習会の参加人数」がありますが、なぜ 2018 年度の数値より目標値が下がるのでしょうか。
- ・ 全体を通しては、様々な人権課題についての指標がありますが、同和問題についてだけありません。豊中市として同和問題についてどう向き合うのかが問われるような指標になっていると思いますので、検討していただきたいと思います。

事務局：

- ・ 「DVに関する相談件数」については、総合計画前期基本計画の中で、DVについて第4章-1-(2)に位置づけられていますので、それに合わせています。

部会長：

- ・ 相談は男女共同参画センターすてっぷで行っているのではないのですか。

事務局：

- ・ そうです。

委員：

- ・ 人権課題として位置づけるのか、男女共同参画として位置づけているのか確認が必要だと思います。

事務局：

- ・ 他の質問と合わせて担当課に確認します。
- ・ PDCAサイクルについてはどうでしょうか。

委員：

- ・ 事実に基づいて正しく評価されているかについては、P72 の施策の方向性シートの今後の方針に書いている市民意識調査について、前回の答申を活かさずに次の市民意識調査を行うということは、実際の施策の展開として正しいのかは疑問に思います。前回の評価から出てきたことを結果として活かさずに次に進めているので、PDCAがまわっているとは言えないと思います。

委員：

- ・ P27 の 3 つ目の○で「多言語での情報提供量を充実させていくことが引き続きの課題です」とありますが、P74 の問題点・今後想定される事項では「大規模災害等に備えた多言語による情報の充実が必要です」と書いてあるので、P27 の方も具体的に書いた方がいいと思います。
- ・ 多文化共生というと豊中市にいらっしゃる外国人だけでなく、迎え入れる側の日本人の心構えの学び・啓発もあった方がいいと思いますので、P74 の施策の方向性シートに書いておいた方がいいと思います。

委員：

- ・ 内容をあまり知らない市民目線で見ると、P D C Aがきちんと書けていて、読みやすいように感じました。

部会長：

- ・ シートはまだ残っていますが、時間になりましたので、本日はここまでにしたいと思います。第4章-2からのシートは第2回第二部会で見っていきます。

3. 案件3「その他」

事務局：

- ・ 連絡事項を1点説明します。
- ・ 次回の第一部会は10月18日(金)18時から、場所は第二庁舎3階大会議室になります。

部会長：

- ・ ただいまの説明についてご意見・ご質問はございませんか。
- ・ 次回は第4章-2のシートから見っていきますが、第4章-1のシートまでを、もう一度確認していただいて、漏れがあったら次回追加意見として出していきたいと思います。
- ・ 第1回豊中市総合計画審議会第二部会をこれで閉会します。

以上